

平成26年12月18日 第3回 新火葬場建設基本計画検討委員会

1 市民説明会の意見

○検討事項

- ・乳幼児の対策(寝かしつけられる場所)

○その他の意見

- ・光庭の構造・目的
- ・最適な発注方法の要望
- ・建物構造(鉄筋コンクリート造)
- ・霊安室の設置目的
- ・炉前冷却室の役割と火葬時間の短縮
- ・残骨の処理
- ・告別収骨室の規模
- ・既存山陽斎場解体時の駐車場
- ・排水の放流先
- ・鳥瞰図

2 個室待合室について

市民説明会での意見等から個室待合室の仕様を具体的に明記したい。

- ・基本計画55ページ (2)の②個室待合室

遺族の心情に配慮し、またプライバシーの面からも個室の待合室を設置することが望まれます。

新火葬場で必要とする室数は、前記4-3(4)項において算出しました火葬件数の最大日の集中時間帯において対応できる5室を確保する必要があります。

なお、個室には洋室、和室、和洋室(畳スペースとテーブル椅子席をおりませた部屋)の3種類があり、その地域の習慣により利用の方法が異なりますが、他自治体における状況を調査しますと、最近では洋室の利用度が高くなっています。

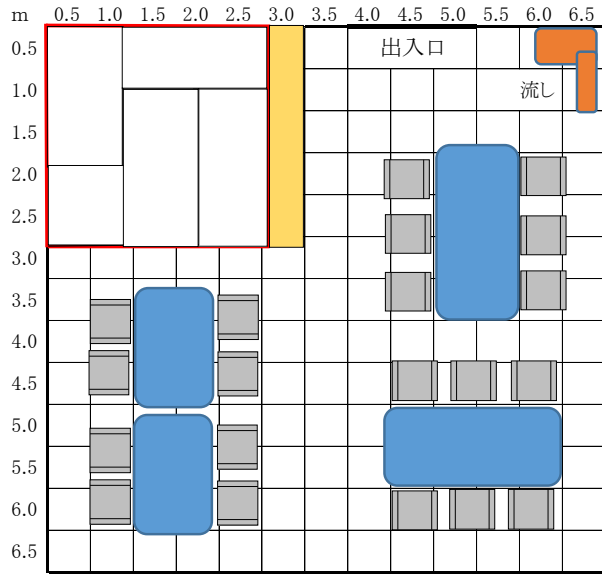
本計画では洋室を主とした待合室としますが、高齢者、乳幼児、車椅子利用者等の様々なニーズに配慮し一部は和洋室とし、更に会葬者の多い場合も想定し、2室を大部屋化できる可動式間仕切の導入を検討します。

- ・基本計画60ページ 表6-2 待合棟の必要面積試算
個室待合室欄、「部屋の形式は、すべて洋室とします。」を削除

追加説明

92ページ 地元還元を地元貢献

3 個室待合室イメージ図



面積 $1.7\text{m}^2 \times 25\text{人} = 42.5\text{m}^2$ (25.7畳)
6.5m四方の個室待合室

